

## 令和5年度 第1回 黒石警察署協議会議事録

### 1 開催日時

令和5年6月30日(金) 15:10 ~ 16:25

### 2 開催場所

黒石警察署 3階 講堂

### 3 出席者

- 協議会委員 10人

鳴海会長、工藤(康)副会長、佐藤(真)委員、藤本委員、岸委員、工藤(直)委員、山本委員、天内委員、佐藤(和)委員、佐藤(俊)委員

- 警察署 11人

署長、副署長、警務課長、会計課長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、交通課長、警備課長、平賀交番所長、大鰐交番所長

### 4 開催内容

- (1) 開会
- (2) 自己紹介
- (3) 仮議長選出
- (4) 会長選出・挨拶
- (5) 副会長指定・挨拶
- (6) 署長挨拶
- (7) 議事

#### ア 業務概況について

各課の活動状況等について説明した。

#### イ 黒石警察署運営方針諮問について

本年度の黒石警察署運営方針として

- 見せる活動の推進
- 関係機関団体との連携強化
- 若手警察職員の育成

を協議会委員に諮問し、意見等なく決定した。

#### (8) 意見・要望

- 黒石大鰐線旧道吹上高畑の柏木小学校通学道路が狭いため、大型車迂回できないか。

[回答] 現状維持が妥当と考えます。

警察として大型通行止め規制について検討致しましたが、未だ主要路線であり、周辺に大型車を迂回させる道路が存在せず、規制をかけるには地域住民、沿線事業所、道路利用者に与える影響が大きいと考えました。

一方、子供等の歩行者保護は重要課題で、一番の解決策は道路拡幅等ですが、過去に平川市が沿線住民に意見聴取したところ道路拡幅に反対意見が多かったそうです。

現在の安全対策として外側線表示で歩行者のスペース確保、警戒標識の設置、40km規制、速度違反取締、学校などによる児童等への歩行指導がなされております。

警察では、これらを踏まえ現状維持が妥当と結論するに至りました。

- ・ 特に冬は歩けなくなる。前向きに考えてもらえれば。

[回答] 現地で道路管理者、警察、平川市、地元の方で交通診断を行い、現地で直接大型通行止めの話、対策について、冬になる前に実施したい。

- 大鰐町駅前、踏切4差路の細い道路、前は止まれの標識があった。危険なので止まれの標識を立ててもらいたい。

[回答] 現状維持が妥当と考えます。

この交差点の南側の道路は、平成22年以前は一時停止規制されていましたが、標識が老朽化で折損したのを機会に踏切列車事故防止を理由に規制が解除されております。

その理由とは、踏切通過後に交差点を直進する車両が連続した場合、南側に車が一時停止していると直進車がスムーズに流出できず、踏切内に車が滞留するおそれがあるため、このような交差点は多くの場合併走する道路側を一時停止規制します。

よって現状維持が妥当と結論するに至りました。

- ・ 一時停止がなくなり、車がバンバン来るようになった。もっと協議してもらえないか。

[回答] ここの道路診断、地元の意見を含めてやっていきたい。

○ コロナも次のフェーズに移行し、活動が活発になると思います。飲酒運転はしない、させないよう注意喚起をお願いします。

〔回答〕 飲酒運転などの悪質危険運転は依然としてなくなるのが現状です。

管内では、本年5月末までの間に飲酒運転で6件検挙され、去年同期比2件増加ですが、事案の悪質性等から、悪質危険運転者が増加していると考えられます。

これから、夏祭りや各種イベントが開催され、飲酒の機会も増加すると思われるので、警察として取締はもちろん、関係機関等と連携した広報啓発活動などにより、悪質危険運転を「やめる、やめさせる」ため取り組んで参りますので、皆様の御理解、御協力をよろしくをお願いします。

○ 田舎館村内で毎年のように同じ場所で交通事故が起きていると聞いており、私も通勤途中で見かけました。一時停止の注意喚起等ぜひ取組を検討いただきたい。

〔回答〕 田舎館村での交通事故の特徴は、追突事故に次いで出会い頭の事故が多く、その原因として赤色信号無視や、一時不停止などがあげられ、特に田園地帯の交差点など、同じ場所での一時不停止や安全不確認による事故が目立ちます。

田舎館村内のこのような交差点には、一時停止標識や「とまれ」の路面標示に加え、道路管理者等で取り付けた看板などで注意喚起を図っておりますが、警察としましては、取締りや広報啓発活動のほか、道路管理者と連携して安全な交差点となるよう対策を検討して参りますので、御理解御協力のほどよろしくをお願いします。

○ 今や社会問題となっている「特殊詐欺」を撲滅させるために、もっと対策を打てないものかと思っています。

かつての暴力団撲滅運動のように、もっともっと社会全体で取り組まねばと思います。

〔回答〕 「社会全体で取り組む」というのは、そのとおりだと思います。

犯人グループは、暴力団や来日外国人犯罪グループなどがその組織力を背景に活動しているのが実態となっており、警察としては、犯人グループの検挙活動のほか、犯行手口を分析しての広報活動を実施しております。

また、警察から、各地方公共団体や金融機関、防犯ボランティアなどの関係機関や団体に対して、高齢者への声掛けや効果的な情報共有・広報活動などの協力依頼を行い連携した活動を行っており、「社会全体での取り組み」を体現しているところです。

○ 本園での4月交通安全教育、5月不審者対策訓練には温湯駐在所から派遣いただき、ありがとうございました。

昨年7月の不審者騒動の際もすぐに駆けつけてくださり、今後も市民、特に子供たちの安全のためにご協力をよろしくお願いいたします。

〔回答〕 当署では、市内の各学校、幼稚園などからの要請を受け、交通安全教室や不審者対応訓練を実施しており、打ち合わせ段階から、交通課や生活安全課、最寄りの交番等まで御相談ください。

また、事件・事故のほか、不審者の目撃情報などの場合、110番通報していただければ、警察本部内の通信指令室につながり、携帯電話で通報した場合、GPSで通報場所が分かります。指令室では通報を受理しながら無線で指令し、無線は当日勤務している警察官が聞いていますので、速やかに警察官を動かすことができます。

#### (9) 質疑応答

○ 相談員4人の役割について教えてもらいたい。

〔回答〕 相談員は、警察官を退職した方等がいろいろな相談を受けたりするもので、本署に警察安全相談員1名、ちとせ、平賀、大鰐の各交番にそれぞれ交番相談員が1名おり、合計4名となります。

#### (10) 青森県公安委員会委員長コメント

#### (11) 閉会

#### 【 開催状況 】

